

2021年9月6日

各位

会社名 シンプレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金子 英樹
(コード番号：4373 東証第一部)
問合せ先 取締役 C F O 江野澤 慶亮
(Tel. 03-3539-7370)

株式の売出しにおけるブックビルディングの仮条件決定及び総売出株式数の 国内外の内訳の変更のお知らせ

2021年8月19日開催の当社取締役会において決議いたしました当社普通株式の東京証券取引所への上場に伴う株式売出しにつきまして、未定でありましたブックビルディングの仮条件等及び総売出株式数の国内外の内訳の変更を2021年9月6日開催の当社取締役会において、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 引受人の買取引受けによる売出しにおける売出価格の仮条件決定等の件

- (1) 仮条件 1株につき1,520円～1,620円
- (2) 売 出 価 格 及 び 引 受 価 額 売 出 価 格 は、上 記 仮 条 件 に お け る 需 要 状 況、上 場 日 ま で の 価 格 変 動 リ ス ク 等 を 総 合 的 に 勘 案 し た 上 で、売 出 価 格 決 定 日 (2021 年 9 月 13 日) に 決 定 さ れ ま す。当 該 仮 条 件 は 今 後 変 更 さ れ る 場 合 が あり、そ の 変 更 の 承 認 に つ い て は 代 表 取 締 役 社 長 に 一 任 い た し ま す。ま た、売 出 価 格 及 び 引 受 価 額 の 承 認 に つ い て も、代 表 取 締 役 社 長 に 一 任 い た し ま す。
- (3) 仮 条 件 の 決 定 理 由 等 上 記 仮 条 件 は、当 社 の 事 業 内 容、経 営 成 績 及 び 財 政 状 態、事 業 内 容 等 の 類 似 性 が 高 い 上 場 会 社 と の 比 較、価 格 算 定 能 力 が 高 い と 推 定 さ れ る 機 関 投 資 家 等 の 意 見 及 び 需 要 見 通 し、現 在 の 株 式 市 場 の 状 況、最 近 の 新 規 上 場 株 の 株 式 市 場 に お け る 評 価 並 び に 上 場 日 ま で の 期 間 に お け る 価 格 変 動 リ ス ク 等 を 総 合 的 に 検 討 し て 決 定 い た し ま し た。

2. 引受人の買取引受けによる売出しにおける総売出株式数の国内外の内訳の変更の件

総売出株式数の内訳 総売出株式数 20,650,300 株のうち、引受人の買取引受けによる日本国内における売出し（以下「引受人の買取引受けによる国内売出し」という。）に係る売出株式数を 8,500,300 株、海外市場（但し、米国においては 1933 年米国証券法に基づくルール 144A に従った適格機関投資家に対する販売のみとする。）における売出し（以下「海外売出し」という。）に係る売出株式数を 12,150,000 株に変更いたしますが、最終的な内訳は、上記総売出株式数の範囲内で、需要状況等を勘案の上、売出価格決定日（2021 年 9 月 13 日）に決定される予定であり、その承認については代表取締役社長に一任します。

【ご参考】

株式売出しの概要

- (1) 売出株式数 ① 当社普通株式 20,650,300 株（引受人の買取引受けによる売出し）
（うち引受人の買取引受けによる国内売出し 8,500,300 株、海外売出し 12,150,000 株）
最終的な内訳は、引受人の買取引受けによる売出しに係る売出株式数 20,650,300 株の範囲内で、需要状況等を勘案の上、下記（3）記載の売出価格決定日に決定される予定であります。
- ② 当社普通株式 上限 1,440,700 株（オーバーアロットメントによる売出し（※））
- (2) 需要の申告期間 2021年9月7日（火曜日）から
（国内） 2021年9月10日（金曜日）まで
- (3) 売出価格決定日 2021年9月13日（月曜日）
（売出価格は、仮条件をもとに、当該仮条件による需要状況、上場日までの価格変動リスク等を総合的に勘案した上で決定される予定です。）
- (4) 申込期間（国内） 2021年9月14日（火曜日）から
2021年9月17日（金曜日）まで
- (5) 受渡期日 2021年9月22日（水曜日）

（※）オーバーアロットメントによる売出し等について

オーバーアロットメントによる売出しは、引受人の買取引受けによる国内売出しに伴い、その需要状況等を勘案し、SMBC日興証券株式会社が行う日本国内における売出しであります。従って、売出数は上限株式数を示したものであり、需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しが全く行われない場合があります。

オーバーアロットメントによる売出しの対象となる当社普通株式は、オーバーアロットメントによる売出しのために、SMBC日興証券株式会社が当社の株主である金子英樹、五十嵐充及び田中健一（以下「貸株人」と総称する。）から借り入れる当社普通株式であります。これに関連して、貸株人はSMBC日興証券株式会社に対して、1,440,700 株を上限として、2021年10月15日を行使期限として、その所有する当社普通株式を追加的に取得する権利（以下「グリーンシューオプション」という。）を付与する予定であります。

また、SMBC日興証券株式会社は、貸株人から借り入れる当社普通株式の返却を目的として、上場（売買開始）日（2021年9月22日）から2021年10月15日までの間（以下「シンジケートカバー取引期間」という。）、みずほ証券株式会社と協議の上で、東京証券取引所において、オーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数を上限とする当社普通株式の買付け（以下「シンジケートカバー取引」という。）を行う場合があります。

なお、シンジケートカバー取引期間内においても、SMBC日興証券株式会社は、みずほ証券株式会社と協議の上で、シンジケートカバー取引を全く行わないか、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数に至らない株式数でシンジケートカバー取引を終了させる場

合があります。シンジケートカバー取引により買い付けられ返却に充当される当社普通株式の株式数が、貸株人から借り入れる当社普通株式の株式数に満たない場合、不足する株式数についてはSMB C日興証券株式会社がグリーンシュエアオプションを行使することにより貸株人への返却に代えることといたします。

以上

ご注意:この文書は、当社普通株式の上場に伴う株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年8月19日及び2021年9月6日開催の当社取締役会において承認された当社普通株式の売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。

また、本記者発表文に記載されている当社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報は、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

本記者発表文は、米国における証券の募集又は販売を構成するものではありません。当社普通株式は1933年米国証券法に従って登録がなされたものでも、また今後登録がなされるものでもなく、1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。その場合には、英文目論見書は当社又は売出人より入手することができます。同文書には当社及びその経営陣に関する詳細な情報並びに当社の財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の登録を行うことを予定しておりません。